

Information

平成21年度 教育研究助成・文化活動助成の募集を開始します！

教育研究助成

- 対象** 岡山県内の学校園に所属する教育関係者、及びその地域、保護者の方々。
- 上限額** 学校園全体の取り組みについては50万円、個人またはグループについては20万円。
- 応募方法** 学校園または市町村教育委員会等へ配布予定（11月中旬）の募集要項をご覧いただき、所定の申請書（財団HPからダウンロード可能）に必要事項を記入の上、当財団事務局宛に郵送。
- 応募期間** 平成20年12月1日（月）から平成21年1月31日（土）【必着】

文化活動助成

- 対象** 岡山県内で文化活動を行っている個人・団体（原則として社会人）。ただし、学術研究や単なる趣味や同好の活動・調査は除く。
- 上限額** 原則上限30万円。
- 応募方法** 市町村教育委員会、公民館等へ配布予定（11月中旬）の募集要項をご覧いただき、所定の申請書（財団HPからダウンロード可能）に必要事項を記入の上、当財団事務局宛に郵送。
- 応募期間** 平成20年12月1日（月）から平成21年1月31日（土）【必着】

- わくわく子どもまつりin岡山ドーム

開催日 平成20年11月2日（日）10:00～15:00
会場 岡山ドーム・多目的広場
主催 岡山市子ども会育成連絡協議会
- おかやま子ども民俗芸能大会

開催日 平成20年11月8日（土）開演13:00～16:00（開場12:40）入場無料
会場 倉敷市芸文館ホール
主催 おかやま子ども民俗芸能大会実行委員会
- 第50回 中国・四国ブロック民俗芸能大会

開催日 平成20年11月9日（日）開演12:30～17:30（開場12:10）入場無料
会場 倉敷市芸文館ホール
主催 第50回 中国・四国ブロック民俗芸能大会実行委員会
岡山県教育委員会・倉敷市教育委員会
- アンサンブル早島 第9回定期演奏会

開催日 平成20年11月9日（日）開演14:00（開場13:30）
会場 早島町民総合会館 ゆるびの会 文化ホール
主催 アンサンブル早島・早島町教育委員会
- 青少年のための科学の祭典2008 倉敷大会

開催日 平成20年11月15日（土）、11月16日（日）
会場 ライフパーク倉敷・倉敷科学センター
主催 青少年のための科学の祭典2008 倉敷大会実行委員会
- 第49回ライシャワートロフィー中学生英語スピーチコンテスト

開催日 平成20年11月16日（日）9:30～16:30
会場 岡山大学創立五十周年記念館
主催 (財)岡山日米文化協会

財団法人福武教育文化振興財団 助成先の活動（つづき）

F U E K I

- 女声コーラス 妹尾コーリリーへ 創立25周年記念演奏会

開催日 平成20年11月24日（月）開演13:30（開場13:00）入場無料
会場 西ふれあいセンター 3階 ふれあいホール
主催 岡山市芸術祭実行委員会
- 音の絵本II よだかの星コンサート ～朗読と音楽で楽しむ宮沢賢治の世界～

開催日 平成20年11月29日（土）開演18:30（開場18:00）
会場 オリент美術館中央ホール
主催 音の絵本制作委員会・岡山市立オリент美術館
- DANCE PERFORMANCE 2008

開催日 平成20年11月30日（日）開演16:00（開場15:30）
会場 岡山市立西大寺市民会館
主催 岡山県現代舞踊連盟
- 第46回岡山市芸術祭「空間集団」第5回公演
ラジオ舞台 太郎冠者歌物語 戯言彩閻魔覚書

開催日 平成20年11月30日（日）開演14:00（開場13:30）
会場 西川アイプラザ 5階
主催 空間集団
- 第6回定期演奏会 倉敷混声合唱団

開催日 平成20年11月30日（日）開演15:00（開場14:30）
会場 倉敷市芸文館大ホール
主催 倉敷混声合唱団
- 第25回外国人による日本語弁論大会

開催日 平成20年11月30日（日）13:00～17:00
会場 岡山国際交流センター 2階国際会議場
主催 (社)大学婦人協会 岡山支部
- オペラシアターこんにゃく座公演 オペラ ピノッキオ

開催日 平成20年12月20日（土）開演18:30～19:50（開場18:00）
会場 赤磐市桜が丘いきいき交流センター（大ホール）
主催 赤磐子どもNPOセンター
- 第4回公演 こどものためのアートプロジェクト
ミュージカル ～シェイクスピア作品への序章～ シェイクスピアとこどもたち

開催日 平成20年12月21日（日）昼の部 開演13:30（開場13:00）夜の部 開演18:00（開場17:30）
会場 西川アイプラザ 多目的ホール
主催 こどものためのアートプロジェクト
- 第35回若い芽のコンサート

開催日 平成21年1月10日（土）開演14:00
会場 岡山市民文化ホール
主催 特定非営利活動法人 若い芽を育てる会
- 劇的集団 転機と砲 第13弾公演 THE BANG！

開催日 平成21年2月14日（土）、2月15日（日）
会場 天神山文化プラザ
主催 劇的集団 転機と砲
- NHK交響楽団定期演奏会 岡山シンフォニーホール第12回公演

開催日 平成21年2月23日（月）開演19:00（開場18:00）
会場 岡山シンフォニーホール
主催 (財)岡山シンフォニーホール

公開している教育機関

- 個性的教育を推進する地区・校助成

開催日 平成20年11月22日（土）10:00～14:00
会場 岡山県立岡山芳泉高等学校体育館
- 学力・人間力育成推進事業助成

開催日 平成20年11月20日（木）9:00～16:00
会場 井原市立井原小学校、井原市立井原中学校



奇祭・梶並神社当人祭（美作市）

F U E K I

不易

vol.32

【特集1】

決

福武文化賞、文化奨励賞

【特集2】

開

文化助成贈呈式・発表会

定

催

財団法人福武教育文化振興財団 助成先の活動

学校訪問記「岡山市立岡山中央小学校」

岡山市立岡山中央小学校は岡山市の中心部にある“古くて新しい学校”である。学校創立は平成17年4月1日。今年で創立4年目の新設校である。しかしその歴史的背景は深い。平成12年3月末、少子化現象と都市部の人口空洞化現象の対応策として岡山市が発表した「市内中心部の学校再編計画」によって伝統校が次々と統合、廃校となる。



正門に残るモニュメント

平成13年4月、まず明治20年創立の内山下小学校と明治5年創立の深柢小学校が統合、岡山市立岡山中央南小学校となり、両校は明治以来100年を超える歴史の幕を閉じた。また明治5年に創立された弘西小学校

と大正12年創立の南方小学校も同じ年に統合、岡山市立岡山中央北小学校が誕生する。

一方、同時に行われた通学区域弾力化によって、出石小学校区の児童は中央北・中央南そして鹿田小学校をそれぞれ選んで通学することとなった。

そしてその4年後、南と北の2校が統合され、岡山市立岡山中央小学校が誕生する。つまり岡山中央小学校は、明治5年以来の130年近い岡山の小学校の歴史と伝統を受け継ぐ学校となったのである。校舎はその最古を誇る弘西小学校の跡地、岡山市弓之町に新築された。

紆余曲折の末に建設が決定した学校だけに着工当時から市民や地域住民、そしてそれに伴い閉校した5校の関係者から「どんな学校が完成するのだろうか」と期待のこもった熱い視線が注がれていた。

現校舎の正門には旧弘西小学校の玄関前に設置されていた二基のモニュメントをそっくり移築するなど、歴史の重みを感じさせながらも斬新な設計で期待通りの小学校が完成した。特にハード面での充実は素晴らしく、未来に翔る学校を実現するのだとの意気込みが感じ取れる設計で、市民の期待に応えたものとなっている。

いにしえの歴史と伝統を守りつつ

未来に翔る教育の実践と創造

特に全天候型昇降式で可動床の屋内プールには驚かされる。また、環境に優しい施設とするためにソーラーパネルによる床暖房や学校周辺の緑化、雨水貯水槽を利用し、屋上までがビオトープ形式で緑化されるなど数々の新しい試みが見られる。また、最上階の5階にはランチルームや純和風様式の日本語教室まで完備しているのである。

現在28学級で児童数は729名、教職員58名を擁する岡山市内では中規模の小学校である。しかし、その教育にかける情熱と研究熱心さは何処にも負けないだろう。「この学校には、子ども・保護者・地域の方々や一般市民の方々の熱い思いと大きな期待がぎゅーしりと詰まっているということを、岡山中央小学校で仕事をさせていただ

いている私たちは、しっかりと受け止めなければならないと考えています。そして、りっぱなハードにふさわしい教育の中身を、また、岡山市のモデルとなりうる岡山中央小学校の教育をこれから創り上げていかなければならないと考えています」と小川潔校長はその決意を述べている。



屋上のビオトープ

本校が広範な岡山市中心部を学区としながらも、多様な地域から寄せられる様々な要望や子ども・保護者・地域住民からの声に真剣にそして謙虚に耳を傾け、期待と信頼に応える「学校」の創造を目指されていることを実感しつつ訪問を終えた。(財団・赤松)



音楽朝会のできる南北連絡通路



奇祭・梶並神社当人祭（美作市）

名峰那岐山の麓、旧勝田町の梶並神社に伝わる当人祭は興味深い。8地区の氏子が毎年交代して当人を決める。当人になると元旦から禊をして神に近づくための精進を重ね、祭りの1週間前からは一人で籠もって人との交わりを絶つ。そして祭礼の夜、榊の葉を銜えて生き神様になり参拝者の背を跨いでいく。境内で待つ信者はざっと300人。“無病息災、願望成就”と、神の跨ぎに祈りを捧げる。まさに岡山県無形民俗文化財の価値がある奇祭。

写真 和田正紀

神社の創建を613年（推古21年）、祭神は雨と水を司る高龕神と伝える。なぜ雨と水の神様が跨ぐとご利益があるのか。今その由来は不明だが、水の神・大蛇を母とする伝説の巨人「三穗太郎」の霊力と結びつける説が説得力をもつ。

毎年10月の第一土曜日に開催される当人祭で、この地方の秋祭りは幕を開ける。かつては数十店の露店が並んだ当人祭。今は3〜4店と寂しくなっているが、最近参拝者に若者が目立つという。神様と靈験。今様の若者ファッションになったのであろうか。それとも・・・。

Editor's comments

福武文化賞、同奨励賞の受賞者が決定しました。今年も例年通り、選考委員会での真剣な討議を裏付ける素晴らしい人たちとの出会でした。

受賞のお知らせと写真撮影の目的で、文化賞を受賞された備中和紙の製作者・丹下哲夫さんのご自宅を訪ねました。44年前に吉備高原の一角から倉敷に引っ越してきた当時のままのお宅は、山陽本線の線路に面していました。度々走り抜ける列車の響きに揺れるお部屋には奥様とご長男の位牌が祀られ、まだ加工されていない和紙の束が大切に重ねられていました。その前で丹下さんは手漉き和紙づくりに徹してきた人生の一端を話してくださりました。齢84歳。素朴な語り口の中に職人の覚悟の深さを感じました。「私の紙を待っている人がいる限り、やめるわけにはいかないのです」と腰を伸ばしながら笑う丹下さんに深い感銘を受け、文化賞を受賞していただけてよかったですと心から思いました。取材から帰るとき、話の途中でお茶を持ってきたくださったお孫さんと後継者の直樹さんが、丹下さんの横で手を振って見送ってくださったことも、受け継がれる伝統の確かさを見るときあのさわやかさに包まれる思いでした。

また今年も10月18日から、オーストラリアのTAFE（職業専門カレッジ）研究のため、クイーンズランド州にある3つのTAFEに、高校の先生を中心とする総勢20名の調査団を派遣しました。来季号ではその成果もご報告できそうです。（S）

季刊

不易

F U E K I vol.32 2008.10.25

財団法人 福武教育文化振興財団

〒700-0807 岡山市南方3-7-17
TEL 086-221-5254 FAX 086-232-3190
<http://www.fukuteke.or.jp/>

制作 株式会社 吉備人

デザイン 田中雄一郎(QUA DESIGN style)

文化の秋

Autumn of culture

発表会

発表会は、平成19年度の助成対象者に一年の活動成果を発表していただきました。8団体による多彩なステージ発表と13団体による展示発表が行われました。



- ① 地域の中で成長を続けている「アンサンブル早鳥」による演奏
- ② 磯崎眼亀の業績と錦莞庭の優秀性を顕彰する「磯崎眼亀顕彰会」の発表
- ③ 中国より伝来の七弦琴を演奏する「坂田古典音楽研究所」
- ④ 福太郎の姿で布施神社のお田植祭伝承を発表する「布施神社行事保存会」
- ⑤ みんなで楽しく健康体操・パタカラ体操を発表する「音楽の磐」
- ⑥ 日本の伝統芸能剣詩舞を舞う「橋流総本部」
- ⑦ オカリナと民族楽器を取り入れた演奏する「風の楽団Viento」
- ⑧ 躍動感溢れる「備中温羅太鼓」の演奏

贈呈式

贈呈式は、本田副理事長の「できるだけ多くの方を、そして、地域とのかかわりを大切にしていける活動を応援していきたい」というあいさつで始まり、97件、助成総額1590万円を贈呈いたしました。



審査委員を代表して鍵岡正謹岡山県立美術館長からは「長く続けることが文化だと思うので、これからも頑張って活動していただきたい」との講評をいただきました。



福田伸子岡山県生活環境部長からは「地域社会の再生と心豊かな生活には文化が必要不可欠です。助成対象者の方々には、今後ますます、意欲的に活動を継続され、岡山県の文化振興に貢献下さることを期待します」との祝辞をいただきました。

平成二十年度の文化活動助成贈呈式及び発表会を九月二十日（土）、岡山プラザホテルで開催いたしました。

岡山県の文化の向上に貢献した個人や団体を顕彰する第9回福武文化賞、福武文化奨励賞の選考委員会が9月5日岡山市内のホテルで開かれ、厳正な審査の結果、文化賞に1個人1団体、奨励賞に3個人1団体が決定しました。受賞者は次のとおりです。

贈賞式は、11月7日(金)岡山プラザホテルで行う予定です。

福武文化賞



丹下哲夫氏

(手漉和紙製作者 倉敷市在住)

旧川上郡備中町で家業の手漉和紙を継承して以来、60余年にわたり和紙の製作を続け、手漉和紙の減退という時代の中で、ためめ研究と工夫を重ねてこられました。研ぎ澄まされた高度な技術から生み出される和紙は、全国の書家、画家から高い評価を得ています。さらに、備中和紙の技術的解明と後継者の養成、備中漆の復元にも力を尽くし、日本の伝統文化の継承・発展に多大な貢献をしておられます。平成16年には岡山県指定重要無形文化財に認定され、著書には「手漉和紙の出来るまで」があります。



NPO法人勝山・町並み委員会

(真庭市)

昭和60年に県下初の町並み保存地区に指定された城下町勝山は、行政によるハード整備と併せて、住民自らのソフトの研究と実践が行われ、現在、全国からの集客が見込める地域となりました。町並みの保存、伝統的行事であるお雛まつりの復活、また、地域の風情と調和し質感を高めている地元芸術家のデザインによる暖簾(のれん)の導入、文化・観光の拠点としての「勝山文化往来館ひしお」の管理・運営、そして、これらを活かす「おもてなしの心」の育成に、地域全体で取り組もうとする活動は、伝統・文化による住民自身の地域振興のモデルとして高い評価を得ています。

決

福武文化賞に丹下哲夫氏とNPO法人勝山・町並み委員会
福武文化奨励賞に高月国光氏ら二個人一団体

定

福武文化奨励賞

○ 高月国光氏 木工芸作家 (真庭市在住)

県北蒜山の「郷原漆器の館」館長として、郷原漆器の復興と継承に尽力され、廃材を活用した製品開発や後継者の育成、地元への漆や栗の植栽など、将来を展望した活動を行っています。また、その技術と造型感覚は高く評価され、日本伝統工芸展においても各賞を受賞し、今後の活躍が大いに期待されます。

○ 宮尾昌宏氏 陶芸家 (和気町在住)

備前焼の技法を素直に継承し、丁寧に思いを込める作品づくりは高く評価され、多くの展覧会において受賞を重ね、特に、平成18年の日本伝統工芸展では、備前焼では初の日本工芸会会長賞を受賞しました。今後とも、岡山県の代表的な伝統工芸である備前焼の継承・発展への貢献が期待されます。

○ 高見信行氏 トランペット奏者 (神奈川県在住)

トランペット奏者として世界的に高く評価され、国内外で数々の一流オーケストラと演奏活動を行い、現在はドイツで活躍しています。両親が矢掛町出身という縁から、岡山を郷土として、岡山フィルハーモニック管弦楽団等との共演をはじめ、子どもたちへの指導や福祉施設におけるコンサートなど県内での活動も顕著で、さらなる活躍と地元への貢献が期待されます。

○ 特定非営利活動法人ハート・アート・おかやま (岡山市)

障害のある人や高齢者と、岡山を中心に活動するアーティストがペアを組み、その関係の中で作品を制作し発表する「アートルック・プロジェクト」は、既に4年間にわたり継続して実施され、大きく広がろうとしています。アートを通じて、人と人・地域・自然との交感を希求する志は高く、今後のさらなる活動の展開と社会全体への効果が期待されます。

創設以来の受賞者は、福武文化賞18件(14氏、4団体)、福武文化奨励賞は31件(16氏、15団体)となりました。受賞者の皆さまのさらなるご活躍をお祈り申し上げます。